

J A九個荘自己改革取組宣言

これまでもこれからも地域とともに
J A九個荘は総合事業を展開し自己改革に取り組みます。

J A九個荘は、「食と農を基軸として地域に根ざした協同組合」として、
組合員や地域の方々から信頼され必要とされる J Aを目指します。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織
です。

・ J Aは、農業者である正組合員と、農業者以外の地域住民である准組合員により組織
され、組合員の皆さまの営農と生活を支えるために様々な事業を展開しています。

・ 農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業（J Aバン
ク）、共済事業（J A共済）など様々な事業を総合的に結び付け、地域づくりに取り組ん
でいます。

・ 信用事業や共済事業を含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、J
Aの経営基盤が安定し、営農指導事業や農業関連施設等への投資が可能となります。

・ これからも正・准組合員の皆さまに対する総合事業の展開を通じて、地域農業の振興
とより良い地域社会づくりの役割を担う J Aを目指してまいります。

自己改革に向けた主な取り組みの一部を以下の通りご紹介します。

1. 担い手の確保と育成（農家所得の向上・農業生産の拡大・地域の活性化）

(1) 栽培に関する講習会や研修会を充実します。

【目標：令和元年度 年2回 ⇒ 令和3年度 年4回】

(2) 土用夕市を開催し若年層の参加を募ります。

【目標：令和3年度 3名以上】

2. 営農指導・提案力の強化（農家所得の向上・農業生産の拡大）

- (1) 営農に関する専門的知識と技術を習得したSAA（スーパーアグリアドバイザー）の育成に努めます。

【目標：令和元年度 取得者1名 ⇒ 令和3年度 取得者3名】

3. 多様な販売網の構築（農家所得の向上・農業生産の拡大）

- (1) 他JAとの連携により新品種米の栽培促進を図ります。

【目標：令和元年度～3年度 20アール以上】

- (2) 新たな販売先と学校給食へのお米の販売を増加します。

【目標：令和元年度～3年度 15トン以上】

4. 地域に開かれたJA活動の充実（地域の活性化）

- (1) 地元小学生の農業体験や学校に出向き出張授業や教材の提供を行い、食農教育に努めます。

【目標：令和元年度～3年度 8校以上】

当JAの営農指導事業の主な取り組みは次のとおりで、予算額は6,300千円となっています。

- ① 農産物の品質向上、出荷数量の増加に向けた土壌診断分析を実施します。
- ② 栽培講習会等に基づく適正施肥を戸別訪問等により周知します。
- ③ 水稻もみ種の温湯消毒の実施や農薬安全使用を周知します。
- ④ 営農改善や生活改善のため各部会等への助成を行います。